

令和5年度 福井県立鯖江高等学校 スクール・ポリシー

スクール・ミッション【使命】

鯖江市の参画や協力を得て、様々な学科やコースを併せ持つ強みを生かした教育活動を行い、多様な進路に応じた学びを充実させ、生徒一人ひとりの自己実現の達成を目指す。鯖江市内外の恵まれた人的・物的支援を活用した教育活動を通して、地域に信頼され、地域社会や国際社会の発展に主体的に貢献することのできる生徒を育成する。

教育方針

1. 真理と正義を愛し、生命と平和を尊ぶ人間を育成する。
2. 勤労を愛し、礼儀と秩序を重んじ、自主的で責任感に富む人間を育成する。
3. 心身ともに健康で、豊かな教養と国際的視野を備えた人間を育成する。

グラデュエーション・ポリシー【育てたい生徒像】

学校教育目標に掲げる知・徳・体のバランスのとれた人間力、今後ますます複雑化する社会を生き抜くための主体性、チャレンジ精神、論理的思考力、倫理観、寛容の精神をもつ人間を育成する。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

(探究科)

- ・探究科は、探究活動を通して課題解決能力を育てるとともに、発展的な学習に取り組むことで、知的好奇心を高め、探究心および目的意識の向上を図る。
- ・鯖江市および鯖江商工会議所との連携協定締結により、地域で活動している方々からの直接指導や地域の企業や団体との協働活動等を通して、地域に密着した探究活動を実施する。また、仁愛大学と高大連携・高大接続の連携協定締結により、3年間を通してテーマ設定や活動方法などに関して、専門的な立場から適切な指導・助言を受けることで、より高度な探究活動を実施する。
- ・2年次では海外研修およびそれに伴う事前活動や事後の振り返りを通して、グローバルな視点で物事を考え、今後ますます複雑化する社会に主体的に対応していく能力を養う教育活動を行う。

(普通科)

- ・普通科は、従来の鯖江高校の流れをくむ「スタンダードコース」と、普通教科に加えて個人の興味関心や目標に対応した専門科目を学べる「スポーツ・健康福祉コース」と「IT・デザインコース」を設置する。また、人間力や主体性、論理的思考等を養うために探究活動にも重きを置き、「総合的な探究の時間」では、探究科同様、地域で活動している方々からの直接指導や地域の企業や団体との協働活動等を通して、地域に密着した探究活動を実施する。
- ・スタンダードコースは大学進学から就職まで多様な進路希望に対応するために、全学年において基礎基本を重視した授業を中心とした「標準クラス」と発展的な内容まで学習する「発展クラス」の2種類のクラスを設ける。いずれのクラスも普通科目をバランスよく履修し、各々の個性伸長や適性理解などに役立つ。また、中高のスムーズな接続や学習力の更なる向上および苦手意識克服のために、特に1年次は英語と数学で少人数による習熟度授業を行う。
- ・スポーツ専攻は、通常の保健体育の他に週6～8時間を専門科目履修のために確保し、身体の科学的な分析やトレーニングを行い、各々の競技力向上を目指す。また、スポーツを通して、チャレンジ精神や自ら探究して創造する能力を育てる。
- ・健康福祉専攻は、週6～8時間を専門科目履修のために確保し、社会福祉・保育と健康・栄養など健康科学について実習も含めて幅広く学ぶ。また、ボランティア活動や特別支援学校との交流を通して、多様な社会における健康福祉の重要性を学び、主体的に社会に関わっていく態度を育てる。
- ・IT専攻は、週6～8時間を専門科目履修のために確保し、専門科目ではICT機器類の充実した専門施設で、情報の収集・整理・加工・表現について学ぶ。また、授業で作成したプログラムの公開やIT関係のボランティア活動等による社会との関わりを通して、地域のIT分野のニーズを理解し、それに対応できる知識や技能を主体的に身につけようとする態度を育てる。
- ・デザイン専攻は、週6～8時間を専門科目履修のために確保し、充実した専門施設で美術・デザイン・工芸を専門的に学び、創造的な表現と鑑賞の能力を高める。また、メガネなどの地場産業とつながるデザインについて学び、ふるさと教育やメガネ産業の人材育成にもつなげていく。さらに、授業作品展などの成果物発表を通して、学習成果の振り返りを行い、制作者としての主体性を育てる。

アドミッション・ポリシー【入学時に期待される生徒像】

- (1) 知的好奇心や探究心をもち、探究活動や発展的な学習に取り組むとともに、行事や部活動等に積極的に取り組みたい生徒
- (2) 夢と希望を実現させようとする向上心をもち、目標に向かって自発的・自主的に積極果敢に挑戦する生徒
- (3) 様々な目標、考え方、特技をもつ生徒が集まる中で、互いの個性を尊重し合い、切磋琢磨して学ぶ意欲のある生徒